

施策評価シート（平成28年度実施分）

基本姿勢	1	安心で魅力ある「定住のしま」 ～分野1 安心して暮らし続けられるまちづくり～
政 策	4	安全・安心で安定した水の供給
基本方針	安全で良質な水の安定供給を図るとともに、サービス水準の向上と経営基盤の強化、計画的、効率的な整備と高水準化に努めます。	

基本施策	1-1-4-①	安全で良質な水の安定供給の推進
主管課名	水道課	所属長名 築 地 政 次
関係課名		
	基本施策の評価	
	<p>○安全で良質な水を供給するための、水源における水質の監視体制の強化</p> <p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 水道施設維持管理業務委託においての定期的な監視を行うとともに、水道職員による随時監視を行い体制強化を図る必要がある。 <p>■平成28年度取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 水道施設維持管理業務委託において、主要な水源の定期的な監視及び水道職員による随時監視を実施した。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> 水道施設整備による統廃合が進捗せず、多くの点在する水源が機械的な監視ができない現状において、すべての水源を定期的に監視するには業務委託料の増加となる要因でもあり困難な状況である。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 国の水道施設整備国庫補助金、交付金、交付税措置等の配分に留意しながら、施設統廃合を進めるとともに監視体制の強化を図っていく。 	
	<p>○より高度な水質基準を保つための、ダムの水質改善や浄水施設の整備</p> <p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 水道施設維持管理業務委託においての定期的な監視を行うとともに、水道職員による随時監視を行い体制強化を図る必要がある。 <p>■平成28年度取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 浅子、奈良尾浄水場の薬品注入設備の改良を実施し、急激な水質悪化に対応できるよう行った。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少に伴う定員適正化計画により水道職員を削減していく現状において、施設のダウンサイジング及びスペックダウン等を行い効率化を図る必要があるが、国の水道施設整備国庫補助金、交付金の要望額に対する配分が縮減され、施設統廃合も計画どおり進捗せず計画給水人口の最大時の施設規模をそのまま使用している現状であり、点在する水源及び浄水場においても集約が図られていない。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 国の水道施設整備国庫補助金、交付金、交付税措置等の要望額に対する配分に留意しながら、引き続き施設統廃合を進めるとともに優先順位を考慮した施設整備を行っていく。 	
	<p>○災害時にも安定的な給水が行える施設更新、施設有効率の向上</p> <p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 国の水道施設整備における補助金、交付金、交付税措置等が縮減されている現状において、施設整備計画により優先順位を設け老朽施設の更新及び耐用年数を経過した老朽管を重点に管更新を行い、施設効率を向上させ災害に備え水道管の一部耐震化を図るとともに、水道管更新時にバイパス管を設けるなどループ化し、災害に強い管網の整備に取り組む必要がある。 	

1 次評価	<p>■平成28年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震管への更新 L=8,100mを実施した。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡易水道では布設後20年以上の配管更新を行ってきたが、上水道では布設後40年以上となり、管路更新計画の大幅な見直しが必要となる。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の水道施設整備国庫補助金、交付金、交付税措置等の要望額に対する配分に留意しながら、引き続き施設統廃合を進めるとともに優先順位を考慮した施設整備を行っていく。
	<p>○渇水や将来の水需要に対応するための、水源の見直し、統廃合、合理化・効率化及び安定的な水源確保と給水コストの削減</p> <p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の水道施設整備における補助金、交付金、交付税措置等が縮減されている現状ではあるが、浄水場機能を集約する等の効率化を図るため施設統廃合及び基幹施設の改良を進め、小規模で不安定な水源は予備水源として確保し渇水等に備える必要がある。 <p>■平成28年度 of 取組概要</p> <p>奈良尾地区統合計画に基づいて、福見浄水場を平成29年3月に休止し、奈良尾浄水場（H27.3一部給水）からの給水範囲を拡大した。</p> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の水道施設整備国庫補助金、交付金の要望額に対する配分が縮減され、施設統廃合も計画どおり進捗せず計画給水人口の最大時の施設規模をそのまま使用しており、点在する水源及び浄水場においても集約が図れないでいる現状である。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の水道施設整備国庫補助金、交付金、交付税措置等の要望額に対する配分に留意しながら、引き続き施設統廃合を進めるとともに優先順位を考慮した施設整備を行っていく。
2 次評価	<p>○徹底した経営の効率化と財政基盤の強化、企業会計システムの導入や人材育成</p> <p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営の効率を図るため業務の見直し等を行い、事務改善及び更なる民間委託の推進を図るなどを行うとともに、早期にアセットマネジメントを活用した経営計画を策定し、持続可能な水道事業の経営について審議会等を設けて審議していく必要がある。 <p>■平成28年度 of 取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間委託の推進による事務改善として、直営で行っていた水道使用者の異動に伴う水道給水開閉栓業務を、町指定給水装置工事事業者へ町内全域を対象に委託した。 ・定期水質検査時の検査水採水業務において、平成29年度からの業務委託実施に向け検討を行った。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本町は1島に1町であり、他の水道事業体とのハード面での施設統合はもとより、ソフト面での管理の一本化等の広域化を図ることができず事業体間の連携も難しい現状である。経営の効率化を図る上で、民間委託推進が手法として検討されるころではあるが、危機管理、人材育成等において、持続可能な水道事業の経営についてどこまで民間委託を図るかは今後の課題である。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営の効率を図るため引き続き業務の見直し等を行い、事務改善及び更なる民間委託の推進を図るとともに、アセットマネジメントを活用した経営計画の策定及び見直しを行い、持続可能な水道事業の経営について審議会等を設けて審議していく。
	<p>・1次評価のとおりとする。円滑かつ効率的に水道事業の経営を行っていくこと。</p>

成果指標等の達成状況

指標名		基準値	H27	H28	H29	H30	H31
有効率	目標	-	-	-	85.74%	87.87%	90.00%
	実績	79.31%	73.26%	76.67%	-	-	-
	達成率	-	0% (0%)	0% (0%)	-	-	-
給水原価	目標	-	-	-	351.83円	350.72円	349.61円
	実績	355.19円	346.45円	340.70円	-	-	-
	達成率	-	100% (100%)	100% (100%)	-	-	-
供給単価	目標	-	-	-	257.89円	262.83円	267.77円
	実績	243.02円	251.34円	227.84円	-	-	-
	達成率	-	33.6% (100%)	0% (0%)	-	-	-

施策事業の進捗状況

1-1-4-① 安全で良質な水の安定供給の推進

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
1	<p>(事業名) 奈良尾地区統合簡易水道整備事業</p> <p>【水道課】</p> <p>(事業目的) 奈良尾地区簡易水道に須崎及び佐尾地区簡易水道を統合し、老朽化した浄水場を廃止して、浄水場を2系列体制とし、水源についても給水量の減少により一部を廃止して、大幅な経費の節減と管理の軽減を図るものである。経年劣化による施設・整備の更新及び漏水事故が多発している管路の布設替を行い、有収率の向上と安定供給を図る。</p> <p>(事業概要) 大川・須崎導水ポンプ設備 1.0式 大川導水管布設工 1,950m 新設浄水場築造工 1.0式 佐尾送水ポンプ設備 1.0式 佐尾送水管布設工 2,980m 浜串送水管布設工 1,175m 新配水池築造工 1.0式 各配水池付属配管替工 1.0式 各減圧井築造工 1.0式 連絡配水管布設工 10,270m 各地区配水管布設替工 11,936m 電気計装設備工 1.0式</p>	実施年度	平成22年度～	
		成果指標	有収率	
		目標値	90%	90%
		実績値	80.64%	87.03%
		達成率	90%	96.70%
		決算(見込)額	47,630千円	92,165千円
		成果指標及び目標値の説明	漏水等の無効水量が減少し、結果安定した給水につながるため、給水量に対する有効水量の割合を成果指標とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	須崎導水ポンプ設備 1.0式 須崎中継導水ポンプ設備 1.0式 導水管布設替工φ150 L=689m 送水管布設替工φ40 L=689m 電気計装設備工 1.0式 (成果・課題等) 導水管の配管替を実施した。布設替区間の漏水減が見込まれる。	(取組実績)	連絡配水管布設工φ150L=1480m 配水管布設替工φ75,L=131m 配水管布設替工φ50,L=449m 給水管布設替工 1式 (成果・課題等) 福見地区への連絡配水管及び配水管の布設替を実施した。福見浄水場は平成29年3月に休止。
2	<p>(事業名) 有川地区統合簡易水道整備事業</p> <p>【水道課】</p> <p>(事業目的) 本事業は有川地区簡易水道に小河原、太田、東浦、東神ノ浦地区簡易水道を統合するものである。人口及び給水量の減少と水源枯渇により、小河原、太田、東浦、東神ノ浦の水源及び浄水場を廃止し、有川地区簡易水道より送水し、安定供給と管理の軽減を図るものである。また、有川地区簡易水道の老朽設備及び電気計装設備を改良し、有効率向上と更なる安定供給を目的とするものである。</p> <p>(事業概要) 導水管布設工4313m、着水井付属配管替工1.0式 上向性ろ過池付属配管替工1.0式 減菌設備工1.0式 前処理ろ過設備工1.0式 急速ろ過設備工1.0式 除マンガン装置設置工1.0式 薬品注入設備工1.0式 送水ポンプ設備工1.0式、送水ポンプ室築造工2棟 ポンプ調整池築造工1.0式、送水管布設工18515m 小河原配水池築造工1.0式 各配水池付属配管替工1.0式 配水管布設替工34060m、電気計装設備工1.0式</p>	実施年度	平成24年度～	
		成果指標	有収率	
		目標値	90%	90%
		実績値	77.01%	85.79%
		達成率	86%	95.30%
		決算(見込)額	47,163千円	214,500千円
		成果指標及び目標値の説明	漏水等の無効水量が減少し、結果安定した給水につながるため、給水量に対する有効水量の割合を成果指標とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	東浦送水管布設工φ150L=866m 東浦配水管布設替工φ50～75 L=584m (成果・課題等) 東浦地区の配管替を実施した。布設替区間の漏水減が見込まれる。	(取組実績)	有川地区配水管布設替工φ75～200 L=3,763m 鯛ノ浦地区配水管布設替工φ50～100 L=822mi (成果・課題等) 有川・鯛ノ浦地区の配管替を実施した。布設替区間の漏水減が見込まれる。

1-1-4-① 安全で良質な水の安定供給の推進（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
3	(事業名) 青方地区簡易水道基幹改良事業 【水道課】 (事業目的) 経年劣化による施設・整備の更新及び漏水事故が多発している管路の布設替を行い、有収率の向上と安定供給を図る。 (事業概要) 相河水源取水設備改良工1.0式、青方ダム導水ポンプ設備工1.0式、相河導水ポンプ井築造工1.0式、相河導水ポンプ設備工1.0式、浅子導水管布設替工485m、浅子薬品注入設備工1.0式、相河薬品注入設備工1.0式、跡次送水管布設替工880m、跡次中継ポンプ設備工1.0式、浅子配水池築造工1.0式、大曾加圧ポンプ設備工1.0式、船崎配水池付属配管替工1.0式、曾配水池付属配管替工1.0式、相河配水池付属配管替工1.0式、跡次配水池付属配管替工1.0式、配水管布設替工7737m、電気計装設備工1.0式	実施年度	平成26年度～	
		成果指標	有収率	
		目標値	90%	90%
		実績値	63.39%	62.86%
		達成率	70%	69.84%
		決算（見込）額	36,984千円	46,703千円
		成果指標及び目標値の説明	漏水等の無効水量が減少し、結果安定した給水につながるため、給水量に対する有効水量の割合を成果指標とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	浅子浄水場薬品注入設備工1.0式 配水管布設替工φ40～75 L=1020.1m	浅子浄水場薬品注入設備工1.0式 本舗装工 A=885㎡	
	(成果・課題等)	大曾地区の配管替を実施した。布設替区間の漏水減が見込まれる。	老朽化した浄水場の設備を改修し、急激な水質悪化に対応できるように構築した。	
4	(事業名) 上五島北部地区簡易水道基幹改良事業 【水道課】 (事業目的) 経年劣化による施設・整備の更新及び漏水事故が多発している管路の布設替を行い、有収率の向上と安定供給を図る。 (事業概要) 白水導水ポンプ設備1.0式 導水管布設工 φ100 3500m 地下ダム導水ポンプ設備1.0式 青方ダム導水ポンプ設備1.0式 急速ろ過設備1.0式 薬品注入設備工1式 送水管布設工 φ75～φ100 1770m 送水ポンプ設備1.0式 配水池付属配管替工1.0式 配水管布設替工 9570m 電気計装設備工1.0式	実施年度	平成26年度～	
		成果指標	有収率	
		目標値	90%	90%
		実績値	65.22%	53.93%
		達成率	72%	71%
		決算（見込）額	63,301千円	47,160千円
		成果指標及び目標値の説明	漏水等の無効水量が減少し、結果安定した給水につながるため、給水量に対する有効水量の割合を成果指標とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	二本松急速ろ過機設置工1.0式 二本松薬品沈殿池改修工1.0式 冷水配水管布設替工φ30～75 L=715.8m	冷水配水管布設替工φ50～100 L=1,442m	
	(成果・課題等)	老朽化した浄水場の設備を改修した。冷水地区の配管替を実施した。布設替区間の漏水減が見込まれる。	冷水地区の配管替を実施した。布設替区間の漏水減が見込まれる。	

1-1-4-① 安全で良質な水の安定供給の推進（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
5	(事業名) 若松島地区簡易水道基幹改良事業 【水道課】 (事業目的) 経年劣化による施設・整備の更新及び漏水事故が多発している管路の布設替を行い、有収率の向上と安定供給を図る。 (事業概要) 浄水場附属配管替工1.0式 滅菌設備改修工1.0式 送水ポンプ設備工1.0式 送水管布設替工 φ150~100 3476m 第6配水池築造工1.0式 配水池附属配管替工1.0式 配水管布設替工 φ150~30 8794m 電気計装設備工1.0式	実施年度	平成27年度～	
		成果指標	有収率	
		目標値	90%	90%
		実績値	62.10%	67.74%
		達成率	69%	75.30%
		決算（見込）額	53,917千円	59,972千円
		成果指標及び目標値の説明	漏水等の無効水量が減少し、結果安定した給水につながるため、給水量に対する有効水量の割合を成果指標とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	若松地区配水管布設替工φ30~100 L=306.6m 電気計装設備工 1.0式	若松地区配水管布設替工φ75 L=34m、土井ノ浦配水池付属配管替工1式、電気計装設備工1式	
	(成果・課題等)	若松地区の配管替を実施した。布設替区間の漏水減が見込まれる。	本庁で監視システムが閲覧できる。若松地区の配管替を実施した。布設替区間の漏水減が見込まれる。	
6	(事業名) 水道管漏水調査業務委託事業 【水道課】 (事業目的) 有収率が低い地区及び配水池水系の水道管路の漏水調査を行い、町全体の有収率の向上に寄与するものである。 (事業概要) 平成27年度 漏水調査業務 17.6km 平成28年度 漏水調査業務 63.2km	実施年度	平成27年度～	
		成果指標	有収率	
		目標値	90%	90%
		実績値	73.10%	76.50%
		達成率	81%	85%
		決算（見込）額	2,850千円	1,979千円
		成果指標及び目標値の説明	漏水等の無効水量が減少し、結果安定した給水につながるため、給水量に対する有効水量の割合を成果指標とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	漏水調査業務 17.6km 不明管探査 1.0式	漏水調査業務 63.2km 不明管探査 1.0式	
	(成果・課題等)	有川地区の有収率において、一時は86.14%まで向上したものの漏水の復元、雪害による破損の影響により平成27年度有収率は76.73%となり、平成26年度の73.09%に比較して3.64%向上した。	全地区有収率において、一時は81.88%まで向上したものの漏水の復元等により平成28年度有収率は76.50%となったが、平成27年度の73.10%に比較して3.4%向上した。	

1-1-4-① 安全で良質な水の安定供給の推進（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
7	(事業名) 崎浦地区簡易水道基幹改良事業 【水道課】	実施年度	平成28年度～	
	(事業目的) 経年劣化による施設・整備の更新及び漏水事故が多発している管路の布設替を行い、有収率の向上と安定供給を図る。	成果指標	有収率	
	(事業概要) 導水管布設替工 φ100 L=615.0m 浄水場付属配管替工 1.0式 送水管布設替工 φ50～150 L=4,745.0m 送水ポンプ設備工 1.0式 排水池付属配管替工 1.0式 配水管布設替工 φ50～150 L=4,423.0m 電気計装設備工 1.0式	目標値	-	90%
		実績値	-	74.46%
		達成率	-	82.70%
		決算（見込）額	-	49,894千円
		成果指標及び目標値の説明	漏水等の無効水量が減少し、結果安定した給水につながるため、給水量に対する有効水量の割合を成果指標とした。	
8	(事業名) アセットマネジメント策定業務委託事業 【水道課】	実施年度	平成28年度	
	(事業目的) 水道施設に関する情報及び水道事業経営に関する情報の整理を行うとともに、重要施設の診断・評価を行い、効果的な施設更新の需要計画及び財政収支見直し等を策定できるよう水道施設の特徴を踏まえつつ、中長期的な視点に立ち、水道施設のライフサイクル全体にわたって効率的かつ効果的に水道施設を管理運営できる基礎データの整理を行う。	成果指標	経営戦略根拠資料策定率	
	(事業概要) 既存データの収集 1.0式 資産台帳データ整理 1.0式 更新需要の見直しの把握 1.0式 重要度・優先度を考慮した更新需要の算定 1.0式 財政収支見直しの検討 1.0式 算定結果の評価・妥当性の確認 1.0式	目標値	-	100%
		実績値	-	100%
		達成率	-	100%
		決算（見込）額	-	7,452千円
		成果指標及び目標値の説明	資産状況を把握し、施設更新需要算定を行い、財政収支見直しの検討及び経営戦略根拠資料を策定するものであるため、策定率を指標とした。	
	取組実績、成果・課題等	(取組実績) (成果・課題等)	(取組実績) 送水管布設替工 φ50L=1,263.0m 配水管布設替工 φ75～φ100 L=99.0m 電気計装設備工 1.0式 (成果・課題等) 頭ヶ島への送水管を耐震管に更新し、安定した送水を図った。	
		(取組実績) (成果・課題等)	(取組実績) 既存データの収集 1.0式 資産台帳データ整理 1.0式 更新需要の見直しの把握 1.0式 重要度・優先度を考慮した更新需要の算定 1.0式 財政収支見直しの検討 1.0式 算定結果の評価・妥当性の確認 1.0式 (成果・課題等) 同業務により現状の供給単価251.7円で当分の間、資金不足に陥ることなく、事業収益対企業債残高も大きく増えることがないよう、単年度建設改良費を2.5億円とすることとし、経営戦略を策定してホームページへ公表する。	